

# 大会名称： 第48回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： ALSOKぐんまアリーナ Dコート

試合区分： No. 132 男子 準々決勝

コミッショナー： 細木 恵臣 鷺野 明子

期 日： 2018(H30)年8月8日 (水)

主審： CC 山岡 忠

開始時間： 16:10

副審： U1 小澤 朋克 U2 相木 康岳

終了時間： 18:10

東海菅生							○	大相模														
(東京)							70	(埼玉)														
								17 -1st- 18 18 -2nd- 12 21 -3rd- 17 14 -4th- 9 -OT1- -OT2- -OT3-							●							
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F							
4	*	水品 拓也	17	0	8	1	1	4	*	月岡 熙	6	1	1	1	3							
5	*	須藤 柊	17	0	6	5	2	5	*	中条 能	12	2	3	0	2							
6	*	守屋 大	7	0	3	1	3	6	*	大友 心童	26	4	6	2	1							
7		宮川 大志	-	-	-	-	-	7	*	沓澤 樹希	4	0	2	0	4							
8	*	大柳 亮太	8	2	1	0	4	8	*	小川 颯斗	8	0	4	0	4							
9		山本 正彦	-	-	-	-	-	9		小林 翼	-	-	-	-	-							
10		川俣 雄大	-	-	-	-	-	10		石井 宏拓	-	-	-	-	-							
11		高橋 昂汰	-	-	-	-	-	11		阿部 楓	-	-	-	-	-							
12	*	内田 蒼	21	0	10	1	2	12		目黒 叶夢	-	-	-	-	-							
13		小関 哉太	-	-	-	-	-	13		福田 唯斗	-	-	-	-	-							
14		日笠 知哉	-	-	-	-	-	14		江原 真叶	-	-	-	-	-							
15		北澤 爽	-	-	-	-	-	15		中村 航太	-	-	-	-	-							
16		原 湧光斗	-	-	-	-	-	16		矢口 颯人	-	-	-	-	-							
17		小野 司	-	-	-	-	-	17		張 博輝	-	-	-	-	-							
18		竹内龍ノ介	-	-	-	-	-	18		村松 巧真	-	-	-	-	-							
コーチ		小山 正男					0	コーチ		星野 優子					0							
合計			70	2	28	8	12	合計			56	7	16	3	14							

S: スターター

PTS: ポイント

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

FT: フリースロー

F: ファウル

全国大会への切符をかけた、埼玉県代表大相模と東京都代表東海菅生の戦い。

第1P、大相模はドライブやミドルからシュートを狙う。対して、東海菅生は#12を軸に、ローポストからの得点を狙う。第1P終盤、大相模#5、#6の3Pが立て続けに決まる。一方、東海菅生はDefリバウンドから#4の速いボール運びから得点を重ねる。お互い簡単に主導権を譲らない一進一退の攻防が続く、18-17の1点差で大相模がリードし第1P終了。

第2P、大相模は#4の速攻やパスラン、#5の飛び込みで相手のファウルを誘う。一方、東海菅生は#8や#5のミドル、速攻で得点する。リバウンドとフリースローの数に差が表れ、30-35、東海菅生のリードで前半を終了。

第3P、大相模はボールマンにプレッシャーをかけ、ボールを奪い#4、#6の3Pで同点に追いつく。対する東海菅生も#12のロールターンからゴール下で取り返す。お互いDefリバウンドから速攻を繰り出し相手ゴールを狙う展開が続く。第3P終盤、東海菅生の速攻から連続して得点が決まり、47-56で東海菅生が差を広げて終了。

第4P、大相模は#6を、東海菅生は#12を中心にOffを組み立てる。また、大相模は速攻から合わせて、東海菅生は速攻からのドライブを中心に得点を狙う。大相模は相手#12のディフェンスに苦慮しタイムアウト。しかし、東海菅生の勢いは止まらず徐々に点差が広がっていく。そのまま試合が終了し、70-56で東海菅生が全国大会の切符を手にした。両チーム、応援も一体となった気迫あるゲームだった。両校の健闘を称えたい。